

# 民生部関連質問

**Q** 介護・病氣予防は「町民の意識改革」と「水際作戦」、即ち不活発になる予兆を早く見つけて直ちに活性化させるよう働きかけることが基本であり、始まりであるといわれている。この「意識改革」・「水際作戦」

に対する、具体的な町の取り組みと予算はどうなっているか。

**A** 日常生活が不活発になり生活機能の低下をもたらす、いわゆる「廃用性症候群」への対応は、重要な課題であると認識している。

このため、町ではミニ・デイホーム事業や、各地域健康センターを拠点とした健康増進、介護予防、地域交流事業を実施している。また、平成16年から健康まつりや、健康づくり講演会などを通じて、健康づくりへの意識を高める取り組みを行っている。これらの事業は今後も継続して実施してゆき、民生委員や在宅介護支援センター、医療機関等の関連機関とも連携を強化するなどの体制を整備していき

**Q** 福垣内議員  
「介護・病氣予防」への取り組み状況は。

**A** 今後も各関連機関と連携を強化していく。  
(内田福祉課長)

**Q** 福垣内議員・田原議員  
犯罪の無い町を目指して玄関灯を点灯する「一戸一灯運動」を。

**A** 町民の理解と協力が欠かせない条件である。  
(広田生活環境課長)

**Q** 屋外で起きた犯罪の6割以上が防犯灯のない暗がりで見逃している。一般に家族全員が帰宅すると、玄関灯や門灯を消す傾向にあるが、「地域の安全は地域自らの手で守る」という精神で街を明るくする為にも「一戸一灯」運動をおこなうのはどうか。

**A** 最近国内では児童や女性を狙った犯罪が多発しており、犯罪不安が高まってきている。犯罪者は人目を避け、明るい場所を避けるということからも、夜間玄関灯をつけることは防犯対策に効果的な方法と考えられる。取り組みはPTAや自治体などの各種団体が一体となって取り組む必要があるが、町では今後、防犯に関する協議会を設置予定でありその中で協議検討を行っていき

たい。

**Q** 大瀬戸議員  
町のこれまでの少子化対策と、今後の計画は。

**A** 現状と分析結果を基に今後の計画に反映させていく。  
(内田福祉課長)

**Q** 全国的な少子高齢化対策による諸問題は益々重大になってきている。特に少子化対策は、自治体の裁量でいくらか解決策も見出せると思う。これまで様々な対策は行われたと思うが、その成果をどのように分析しているか。また、今後周辺市町から若い家族の移住を促す施策としてどのような手段を準備しているか。

**A** 少子化対策のこれまでの施策としては、保育所での延長保育、乳児保育、小学校での児童クラブなど各種事業を行っている。これらの事業の成果については、現在作成中の「次世代育成支援行動計画」において分析し、その施策に反映させていきたい。また、多世代交流プラザ「くまのみらい21」内で子育てができる環境づくりを行っていきたいと考えている。